

会報 1984/NO.6

昭和59年4月14日発行



長野県建築設計監理協会

長野県建築設計監理協会事務局＝
〒380 長野市南長野妻科426-1 長野県建築士会館

も く じ

水と建物	尾島 正吉	3
塩田平「鎌倉文化と遺跡」	上田市観光課	4
いま、アメリカはコンベンションが都市のテーマである		
	木郷 文男	6
《会員事務所作品紹介》	伊藤建築設計事務所	8
テクニカルシート	鐘淵化学・綿半鋼機	10
賛助会員活動報告		11
正会員・賛助会員名簿		12
ずいひつ◇窯の煙	唐木田又三	14

■表紙 堀内家住宅(重文=塩尻市)

江戸後期の切妻づくりの住宅。
塩尻市には江戸時代の中信地方
を代表する小松家(初期)、島崎
家(中期)、小野家(末期)など
の民家が重文指定されている。

水と建物

尾島正吉



建築物のある所、必ず水が使用されます。われわれ建築家は、使用された水をいかに奇麗にして放流するかを考え設計し、また建物の直接管理者、使用する人とともに取り組んでおりますが、なかなか効果が上がらないのが現状です。そこで、設計監理を行っているわれわれこそ、この直面している現状をいかに打開するかを、他の研究者とともに努力しなければならぬでしょう。

都市部では公共下水道が着々進み10年後には人口の45パーセント分は処理されますが、他の農漁山村、特に観光開発された海浜や河川の水源に近い山奥等では仲々下水道設備は進まず、問題は解決されそうにありません。その上、都市近郊の新興住宅地においては、周辺の住民の反対により浄化槽の設置もままならず、そのくせ台所その他の親排水は田用水路に放流され、水の汚染の大きな原因となっております。以上の様な事を行政側は充分知りつつも手をこまねき打開に努力を払わずにおります。(少々努力しているかもしれませんが…)

建築設計に伴う排水処理に関する我々の意見具申には耳を傾けず、ひたすら“住民の同意を求める”という姿勢にのみ終始しているのが現状です。浄化槽は、現在の処理能力ではリンも窒素も除去する事は出来ません。しかし、放流水を地下かんがいすることによりそれ等の98パーセントは除去可能であり、また、工夫によって地下水のリサイクルを適正にすることも出来ます。

以上、ほんの一例にすぎませんが、水及び空気は動植物にとって欠く事の出来ない大切なものです。狭い国土で世界にも稀な高度高密度の経済社会活動が、限られた都市圏において行われている我が国においても、観光地も含めて局地的に集中して排出される多種多様な汚水を、高度な処理技術を加えて自然界の環境サイクルにのせて還元することは困難な事です。

そこで、建築家は率先して環境サイクルを拡大して環境容量を積極的に増強する様、社会に訴えなければなりません。環境容量とは、自然界は常に物質を還元し、生活環境の質的水準を一定に保ち、また資源を再生産できる能力を持っていますが、この様な能力を量的にとらえたものをいいます。さしあたっては、土壤に有機性物質を還元して林野と同じ様に土壤力を培養する事が大切であり、また、急務といえます。

もともと我々の生活圏には、水のリサイクル、多様な廃棄物の自然還元等を円滑にするため、その規模の大小に関わらず健全な土壤からなる農地・林野等一定の面積が必要とされています。すなわち、都市・農村は本来一体としての有機的な結びつきがなければなりません。土壤を本来の健全な姿に保持し、この土壤を通じて汚水・親排水の処理水の地下水へのリサイクルを図ることは、水域の正常を保持するためにも必要な手法です。建築設計に携わる者は、先ず環境づくりを考え、その中に緑と豊かな建物を設計しなければならないと考えます。

(尾島建築設計事務所所長)

塩田平—鎌倉文化の遺跡(一)

上田市観光課

上田市の西南に展開する小盆地を「塩田平」と呼んでいるが、ここはまた多くの文化財が点在するところとしても知られている。

わが国唯一の禅宗様八角塔をもつ安楽寺三重塔(国宝)をはじめ、中部日本最古の木造建築といわれる中禅寺薬師堂(重文)、その内部に安置される木像薬師如来像(重文)、常楽寺石造多宝塔(重文)、また中世城館跡として県内有数の規模をもつ塩田城跡(県史跡)など、とくに中世文化にかかわる古建築、仏像、石造文化財、史跡等が密集しているのがある。これだけ多くの文化財が、なぜこの狭い盆地内に集中して存在するのであろうか。まずこの辺の事情を理解するために、塩田平の歴史的背景をみておく必要があるかと思う。

塩田平が信濃の歴史の上で最初に注目されるのは、信濃国府の成立以前にあったとされる、科野国造しなののくにのみやつこ(古代信濃国の長官)の根拠地が古い由緒をもつ生島足島神社周辺に想定されることである。とすれば、塩田は早くから信濃国の政治的な中心地であり、開けた地域であったことになる。また平安末期には、「塩田」という名称が文献にはじめてみえるが、これによると当時の塩田庄は、最勝光院という院の荘園であったことがわかる。ところでこの院に寄進された荘園は、全国的にみてかなり富裕な地が多いといわれ、信濃では唯一つ塩田庄だけであることも、また注意されるところである。

さて、鎌倉時代における塩田平は、いったいどのような様相であった

のだろうか。周知のとおり源頼朝が政治の実権を握ったのは、文治元年(1185年)のことであるが、その翌年には早くも信濃国小県郡塩田庄に、彼の腹心の惟宗忠久(島津忠久)を地頭に任命している。この時の「地頭職補任状」は信濃では最初であり全国的にも早い時期に出されたものといわれ、鎌倉幕府がいかに塩田平を重要視していただかがわかる史料である。

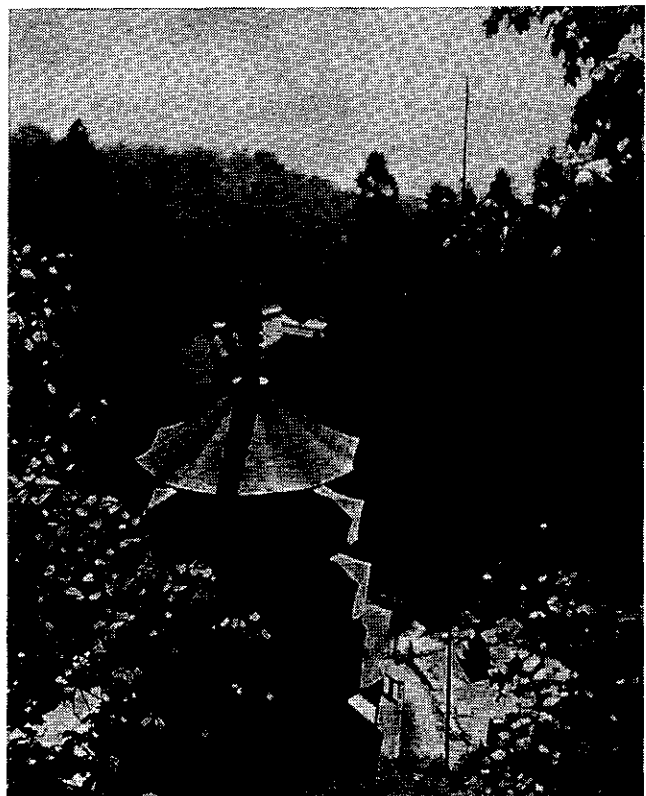
また、それから50年ほど経た嘉禄年間頃の塩田平は、「信州の学海」といわれた土地柄であったという。これは京都南禅寺の開山となった信州出身の名僧無闕普門むくつもんの言葉であるが、彼が少年時代に塩田に来て修業した伝記の中で記したもので、およそ学に志すものは皆この地に集って勉強したというのである。普門の修業した寺院はどこであったか定かでないが、この時期から25年あまり経たころ、別所に禅宗寺院としての安楽寺が創建されている。ところで、この安楽寺開山となった樵谷惟仙しほやいせんは、入宋し修業した名僧として知られるが、執権北条時頼が招いて鎌倉建長寺の開山とした宋の名僧蘭溪道隆らんげいどうりゅうも、この惟仙を尊敬し親交があったという史料もいくつか残されているという。

こうしたいくつかの事項をつなぎ合わせると、当時の塩田平がいかに文化的水準が高かったか想像することができるのである。

このように塩田平が信濃における文化地帯となった背景には、すでに鎌倉幕府創設期から、この地に信濃守護所が設置されていたとみるむきもある。それはともかく、この文化を受けつぎ、さらに発展させた人物として塩田北条氏の存在を忘れることはできない。つまり建治三年(1277年)鎌倉幕府の要職にあった北条義政が塩田城に居館し、その子と孫の三代約60年間にわたって、塩田平の政治、文化の中心となったことである。この塩田北条氏は幕府滅亡時に一族をあげて鎌倉にはせ参じ、宗

家と共に殉じてしまうが、このわずかな期間、塩田地域に与えた影響はきわめて大きく、ことに現在残る多くの文化財はこの時期のものといわれている。

これ以後の塩田平は、村上、武田信玄へと交代し、さらに天正10年(1582年)には真田氏の領有するところとなった。真田氏の上田城築後は、ここ塩田平は一農村地帯へと変貌し、俗に“塩田三万石”と呼ばれる上田藩の穀倉地帯としての役割を担うことになるのである。



▲安楽寺



▲生島足島神社



▲中禅寺

このシリーズは、上田市観光課の御協力により今回より4回にわたって掲載されます。

いま、アメリカはコンベンションが都市のテーマである

松本商工会議所専務理事 本郷文男

「アトランタを売り込め」に学ぶ

「風と共に去りぬ」で有名なアトランタは、いまアメリカでも著名な会議都市として知られ、活気に満ちた都市である。

アメリカ三大コンベンション・センターの1つといわれる「ジョージア・ワールド・ kongress・センター」に隣接するドラマチックな建物オムニ・インターナショナル内のアトランタ商議所を訪ねる。

まず日本語版によるアトランタを紹介する映画から始まり、「アトランタの良さを知って貰うために、アメリカ全土に、海外に、アトランタを売り込め」がアトランタ商議所のモットーであると、女性の国際部長が熱っぽく説明する。このための費用は1970年には年間30万ドルであったものが、1980年には110万ドルに及び、そのほか情報提供等広報活動として21種類の刊行物に60万ドルかけている。

アメリカ三大コンベンション都市と自負するアトランタは失業者も極めて少なく、南北戦争の命運を決したといわれる血で洗われたかつての激戦地からアメリカの地方都市の新しい息吹を肌で感じたところである。17,300席をもつ会議場、35万平方フィートの展示ホール等目をみはるばかりで、1980年度のコンベンションによる入込数は75万人を超え、2億3,275万ドル（約580億円）のお金をおとしている。関連経済効果は、これを含めて3.5億ドル（875億円）の消費効果が発生している。

これに伴う税収入は1,840万ドル（46億円）に及び、7,500人の雇用を

もたらした。

アトランタは、コンベンション施設群に千室以上のホテルが十指に余る会議都市そのものである。

「サンディエゴ」をアメリカの都市に

スペイン風アビードレンガの屋根や長い歴史を秘めた土壁の美しい街、白いマストが並ぶヨットハーバーの風景が広がっている海、リゾートタウンとして最近有名になってきたサンディエゴは、海軍基地としても知られている。

サンディエゴ商業会議所会頭は、サンディエゴはもはやアメリカの西海岸ではなく、太平洋圏における東海岸の都市として、「アメリカで最も立派なアメリカ第一の都市」にすることがサンディエゴ商議所の使命であると強調、その心意気に感銘をうける。

会長は現在、サンディエゴ・コンベンションセンター設置委員長として活躍しており、サンディエゴをアメリカの都市にするため、コンベンションを必須の条件としている。現在進めている計画は、建設費9,500万ドル（約228億円）、雇用可能人口4,500名、10年間に2億ドル収入可能と試算している。

「サンノゼ」のTAX方法に注目

アメリカの先端技術産業の30数パーセントのシェアをもち、シリコンバレーと呼ばれるサンノゼは、また日本人留学生も多く、親しみのある

町である。現在コンベンションセンターが手狭になったため、サンノゼ商議所が中心となって新しい建設計画が進められているところである。ここで注目したことは、市がコンベンションに代わるTAXを宿泊税として徴収し、全額をサンノゼ商議所に交付。商議所はこれを、①コンベンション・ビュー活動、②市の芸術文化振興事業、③コンベンションセンター建設資金に、それぞれ3分の1ずつ充てていることである。シリコンバレーとして世界的に知られている工業都市が、コンベンションに極めて意欲的であることに驚く。

都市における工業の限界性とも言うべきか、コンベンション産業の魅力というものについて教訓となる。

あまりにアメリカ的な「ニューオーリンズ」

真夏に訪れたニューオーリンズはことのほか暑く、ジャズ発祥の風土性はどこにあるのかちょっと見当がつかない。

9万6千人収容のスーパードームはフットボールであれ、野球であれ何でもござれの巨大なドームで一驚する。あまりにも大きな計画のため、市議会の同意が得られず市長が州に持ち込んでやっと実現したという代物。

ドームそのものを松本に持ち込むわけにはいかないが、9万6千人の入退場は20分あれば可能といった合理的な装置といった点などは大いに学ばなければならない。

アメリカの軽井沢「アスペン」

標高2400m、世界で一、二を争う銀の鉱山で栄えたアスペンの町は、1982年銀本位制廃止と共にアスペンの栄光の時代は幕を閉じ、定住人口は700人に減り死の街と化した。

その後、銀の時代から雪の時代、すなわちスキー場の開発によって再

び脚光を浴びるようになり、さらに、毎夏2ヶ月間にわたって「アスペン・ミュージック・フェア」が開かれ、今ではザルツブルグ音楽祭をしのぐまでに発展。また、国際デザイン会議IDCAは毎夏一週間のプログラムで開かれるなど、冬はスポーツ、夏は知的なイベントによって世界的に知られるようになったのである。

イベントによって町の活性化が図られた典型的な例であろう。

市街地再開発の新たな手法

アメリカの最近の傾向は、地方中核都市の活発なコンベンション熱はコンベンションの地方拡散に拍車をかけ、シカゴ・ニューヨーク等のかつてのコンベンション都市は、施設更新などで巻返しを図っている。

また、ニューヨーク市のマンハッタン再開発計画の拠点施設としての「ニューヨーク会議センター」、サンフランシスコ市の市街地再開発の目玉としての「モスコム・コンベンションセンター」などは再開発事業とセットした好例といえよう。

アメリカの場合コンベンション活動は、①いずれも商議所が中心的役割を担っていること。②これからの都市活性化発展の鍵と位置づけていること。③新しい都市機能としての役割を担っていること等、今、アメリカではコンベンションが「都市の重要なテーマ」となっていることを肌で感じとった次第である。

(松本商工会議所会報 11月号転載)

会員事務所作品紹介

株式会社 伊藤建築設計事務所

所長 伊藤 宗春

創業／昭和30年8月

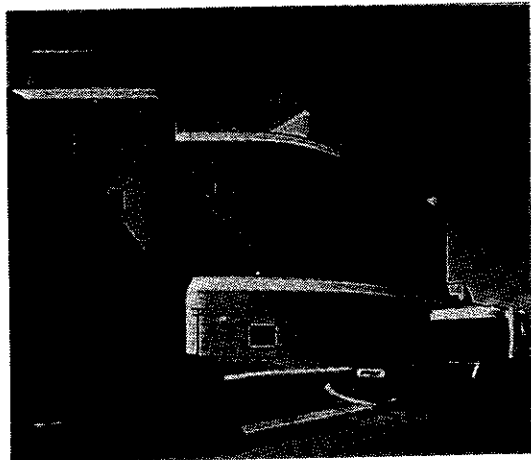
所員数／24名

事務所のモットー

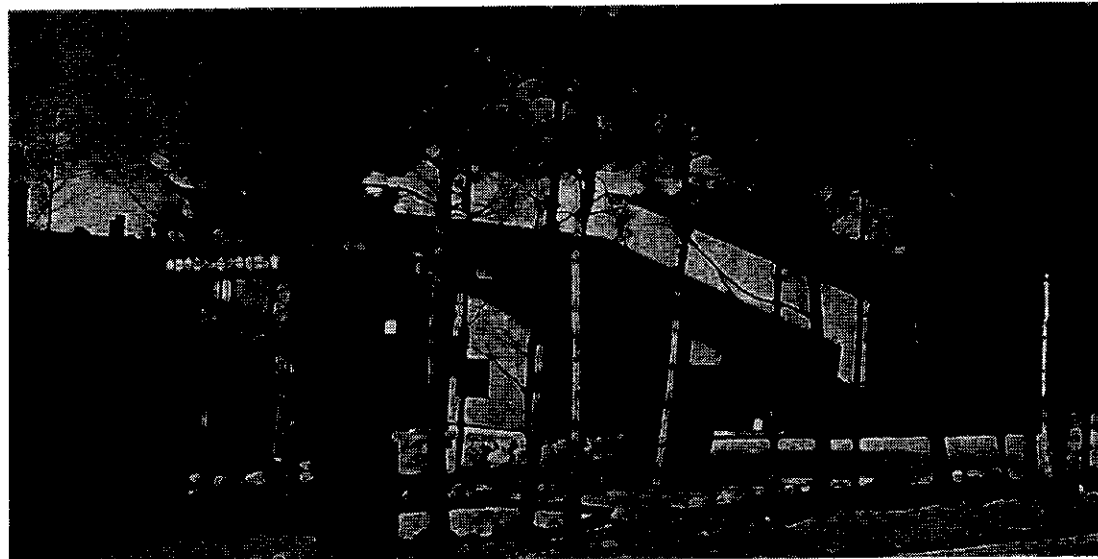
建築主の意図するものを適確に把握し、アーチストとしてオリジナルなものを設計し、施工者と共に施主の満足出来る建物を造る。

現況

目指すものが「言うは易く行は難し」のことわざ通り大変難しいのは、皆様御承知の通りです。工事費、所員、施工者の適性、技術の問題等、多事多難な現況ですが、事務所のモラルを守る事は絶対に実行して行きたいと思っている。



公立学校共済組合浅間温泉保養所



▲多摩市立少年自然の家

多摩市立少年自然の家

建築場所／諏訪郡富士見町立沢字広原1-1205

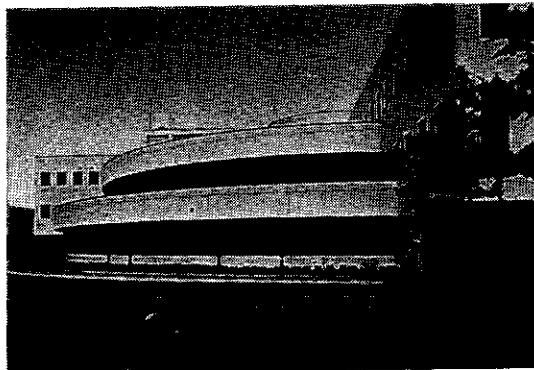
施工者／多摩市 面積／2,350㎡ 構造／RC・1F・B1 完成／昭年54年11月

特徴／普段都会で生活している青少年のための宿泊施設である。建物をいくつかのブロックに分けて敷地の傾斜に沿って配置し、又、外壁を檜緑甲板貼とし、豊かな自然に溶け込むよう計画されている。内装、更に照明設備にまで可能な限り木を使用し、暖かみのある内部空間としている。

公立学校共済組合浅間温泉保養所

建築場所／松本市浅間温泉 施工者／公立学校共済組合 面積／3,972㎡ 構造／RC・4F・B1 完成／昭和58年4月

特徴／敷地は東西に細長く中央部で45度程度曲っている。又、東と西での高低差が大きいのでこの敷地を生かして建物を配置し、中央部で大きな曲面を取って建物に変化をつけた。更に高低差を利用することにより、地階の浴室を屋外空間に面して設けることができた。又、敷地北側に道路をはさんで接する宅地への境界の影響を軽減するため、敷地の南側へ高層部を配置し、北側へは低層部をからめた。建物の出隅部分を全て曲面処理し、中央部の大きな曲折と共に建物全体の印象を非常に和らげている。



▶三郷村公民館・保健センター
▶三郷村役場庁舎

三郷村役場庁舎

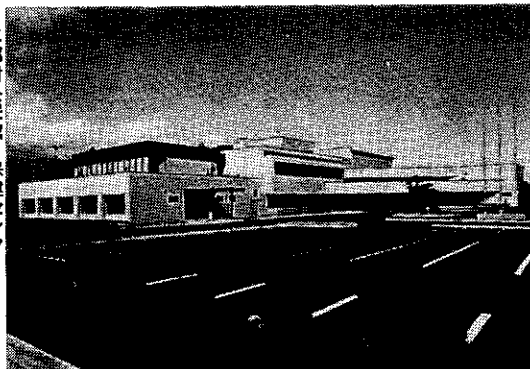
建築場所／南安曇郡三郷村明盛 施工者／三郷村
面積／4,505㎡ 構造／RC・3F・B1
完成／昭和55年12月

特徴／○事務室は南面させたオーブンア形式の扇形となっている。○外壁は白い2丁掛磁器タイル貼とし、庁舎として耐久性のあるものとしている。○L型の建物に扇形の事務室を加えた形は、機能的であると共に、役場として象徴的なものになっている。○建物中央部には扇形の中庭が設けられている。

京都市職員厚生会富士見高原保養所

建築場所／諏訪郡富士見町立沢字広原 施工者／京都市職員厚生会 面積／1,745㎡ 構造／RC・2F
完成／57年7月

特徴／○外観は八ッ岳山麓の自然の中に調和する建物とした。○内部は近代建築の中にも溶け込むような数寄屋を取り入れた。

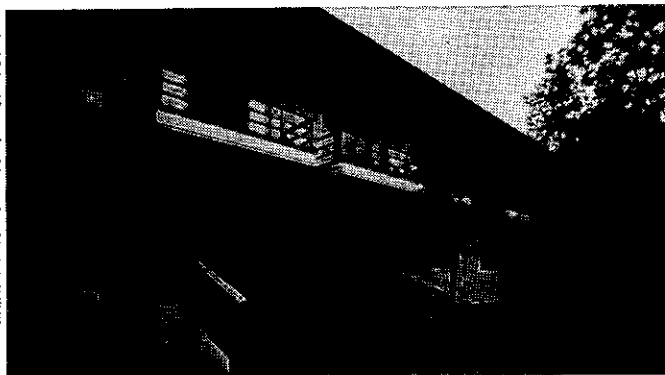


三郷村公民館・保健センター

建築場所／南安曇郡三郷村明盛 施工者／三郷村
面積／2,956㎡ 構造／RC・2F
完成／昭和56年10月

特徴／○500人収容の講堂を持ち、天井も高くして音響的处理も行っており、音楽会等にも十分使えるものとした。○建物中央部には中庭を設けて採光通風を図り緑の空間とした。○公民館と保健センターは、一体的に利用出来るように内部においてつなげている。

▶京都市職員厚生会富士見高原保養所



駒場公園多目的体育館・プール・弓道場

建設場所／佐久市大字猿久保

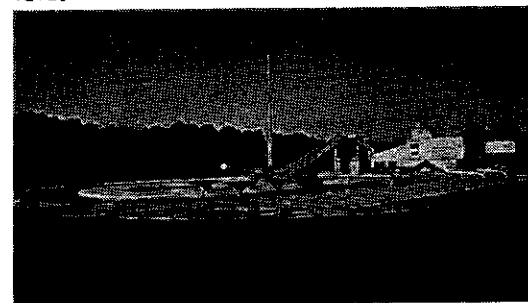
施工者／長野県 面積／体育館4,846㎡

プール1,600㎡ 弓道場／271㎡ 構造／体育館・RC・2F、プール・RC・3F、弓道場・S1F、
完成／体育館・昭和55年10月、プール・昭和57年6月、弓道場・昭和58年3月

特徴／○公園全体の建物の調和を図った。

○プールは市役所、ゴミ焼き工場からの廃熱利用を出来る特殊設備とした。(蓄熱槽 機械室)

○プールは年中利用のため、省エネルギー建築を考えた。



▲駒場公園プール

テクニカルシート

「エクセルウインドー」と「カネライト壁外断熱工法(GP・VS工法)」について
 鐘淵化学工業㈱ 千疋 仁一

「エクセルウインドー」とは、塩ビサッシで30年の実績を誇る西独レハウ社との技術提携によって誕生した高性能断熱サッシです。アルミの1/1000という素材を生かし断熱効果ばかりではなく腐食の原因となる結露や凍結の防止、さらには、高い気密性を生かし、防音性にも大きな力を発揮します。完全引き違い方式、コーナー部溶接におけるすきま風の追放、断熱効果の高い空気層12%の複層ガラス、原料から完成品までの一貫生産、とエクセルウインドーならではの先進技術が北国の窓を一新しました。

北海道では、ここ数年塩ビサッシの急激な伸びにより、今や2割は従来のアルミサッシからこうした塩ビ製サッシにかわりつつあります。厳しい寒さを寄せつけぬ遅しき、清々しい空気を迎え入れるさわやかさ一北国の窓に求められているこの両面を同時に前進さ

せた窓、それが省エネ建材に大きく貢献する鐘淵化学が開発した高級塩ビサッシです。

カネライト壁外断熱工法のGP工法とは、カネライトフォームF-IIとGRC(耐アルカリガラス繊維強化セメント)との複合パネル(GRCパネル)を特殊プラグを用いてコンクリート壁に格子型状に取り付け、吹付塗装をして仕上げる工法で、外壁用パルプ混入石綿セメント板等の複合パネルの施工も可能です。

VS工法とは、カネライトフォームF-IIを特殊ビスを用いてコンクリート壁に取り付け、下地として組まれた横胴線にスパンドレル等を縦目目板状に張り上げる工法で、カネライトフォームと金属サンディングの間に通気層を設けています。

いずれの工法も壁外断熱システムに要求される断熱性・結露防止性・耐久性・外力に対する安全性・防火性等に優れ、低中層集合住宅や倉庫等、建物の用途に応じて、また、新築や断熱改修、更にRC造、PC造等を問わず実施できるものです。

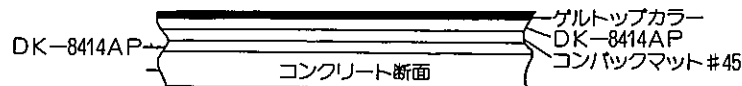
浸透・反応性防水剤
 コンパック工法(防水・防蝕)
 綿半鋼機㈱ 唐沢 正富

構築物の防水に関するトラブルの解決が永年の懸案になっておりますが、この問題を解決する方法として「コンパック工法」が開発されました。コンパックとは、コンクリートをバックするという意味です。コンクリートの毛細管に深く浸透してコンクリート内部に防水層を作り、防水・防湿・アルカリ分の固定・耐酸・耐塩水は勿論エフロの防止から強力密着シーラーとしての特殊性能まで、極めて広範囲にコンクリートを保護致します。コンパックは特殊ウレタンオリゴマーを主成分とし

た浸透性防水剤で、一般の防水剤が毛管の入口を物理的にカバーすることで防水するのとは本質的に異なり、コンパックは化学的に毛管の内部を埋める事によりその目的を果たします。内層深く防水層を作るための暴露による効力保持は半永久的と言っても差支えありません。

それではコンパック工法の対象物応用例、目的を御紹介致します。(表・参照) コンクリートの防水・防蝕・補強の総てはコンパックとコンパック専用ガラスマット・DK-8414・ゲルトップの組合せが基本になります。以上、簡単でございますがコンパック工法の概要を御紹介させて頂きましたが、資料等は是非弊社まで御請求下さいませよう、よろしくお願い申し上げます。

対象	応 用 例		目的
コンクリート モルタル ブロック スレート 発泡コンクリート	1. 屋上・ベランダの露出歩行防水 2. 工場床の露出防水・防蝕・美装 3. プールの露出防水	4. サイロ内壁の防蝕 5. 漬物槽・海水魚の養殖池 etc	◇防水・防蝕 ◇防エフロ ◇ヒビ割れ防止 ◇凍害防止 ◇塩害防止 ◇美観



飯田市で第4回技術交流会

1月28日飯田市「福本」において、第4回技術交流会が開催された。今回は日本ステンレス株式会社の「P&Pステンレス工法」説明会と、株式会社ニッタン「新型受信機」の製品説明会であった。

当日は、交通機関等必ずしも至便とはいえない開催地であったにもかかわらず県外賛助会員の出席者も多く、会員事務所所員の参加もみられ、全体で30余名の出席があった。

ニッタン株式会社からは、自動火災報知システムの経路サンプルを据えての実施説明があった。

新型受信機「IPEO型」は回路の半導体化、高密度化により各種の常時異常監視機能を採用し、形状も薄型を実現。断線地区が一目でわかる自動断線監視等、独自の方式でシステムの安全性、信頼性



を上げたとのこと。操作性の向上と省エネ化を図る指針も注目されることである。

また、火災発生時の状態の正確な把握と通常の非火災報の防止は自火報、防排煙システムの最も重要な課題だが、それを解決するために新R型防災システム(NF-1)を開発。エレクトロニクス技術、アナログ-デジタル変換、デジタル情報伝送と処理技術等を駆使して新しい機能と安全性を図ったという説明があった。各種の記録がカードで表示される点等、機能の先進を思わせる説明会であった。

日本ステンレス株式会社は、従来の防水工法の最大の欠点であった耐久性の短さを克服した工法として「P&Pステンレス防水工法」を紹介。スライドで工法の説明と施工例の紹介があった。

P&Pステンレス防水工法は、防水面にステンレス鋼採用のため、耐食・耐久性は万全である。また、

独自のエキスパンション構造で溶接するため漏水の心配もなく、工法も比較的容易に行えるとのこと。殊に注目される点は、カラーステンレスのシーム溶接が可能になったことであるが、これは、ステンレス鋼板にエポキシ系樹脂塗料を下塗りし、その上に超微粒のステンレス粉末を混合したシリコンポリエステル系樹脂塗料でコーティングされており、塗膜自体に導電性があるため、今まで不可能とされていた溶接が可能になったとのことである。

両社合わせて3時間程の説明会だったが、正会員・賛助会員・正会員事務所所員等の質問が相次ぎ、時間不足の感があり、充実した交流会であった。

設計監理協会では、第5回技術交流会を4月14日、長野市の「山王共済会館」で開催します。内容は次のとおり。

○鐘淵化学工業株式会社

塩ビサッシ「エクセルウインドー」の商品説明と外断熱改修G P工法説明会

○綿半鋼機株式会社

「フジエース」(現場打ちの軽量気泡コンクリート)の商品説明会

【賛助会員名簿】

会 社 ・ 団 体 名	担 当 地	連絡電話番号
鐘淵化学工業株式会社	〒107 東京都港区赤坂1丁目3番12号(赤坂センタービル)	(03) 405-1018
積水化成工業株式会社	〒160 東京都新宿区西新宿2丁目1番1号(新宿三井ビル)	(03) 347-9639
株式会社ナカジマ	〒385 佐久市大字新子田1855	(02676)7-3669
株式会社甲州屋	〒380 長野市鶴賀七瀬東通り271	(0262)26-3101
株式会社富倉屋	〒380 長野市荒木町123の2	(0262)28-2121
綿半鋼機株式会社	〒380 長野市大字南長池205番地	(0262)44-6500
株式会社本久	〒380 長野市北長野通り3丁目601番地	(0262)41-1153
株式会社角藤	〒380 長野市東鶴賀町60番地	(0262)33-0101
株式会社鍋久	〒380 長野市若里1972番地	(0262)27-3115
株式会社オークサ本社	〒384-01 佐久市野沢94の1	(02676)2-2345
前田製管製品販売株式会社	〒380 長野市南堀651-7	(0262)44-5221
岩崎電気株式会社	〒380 長野市川合新田3767	(0262)28-2585
東洋プレコン工業株式会社	〒500 岐阜市忠節町3丁目58	(0582)65-2311(代)
小野田デュロックス株式会社	〒390 松本市城西1丁目1番45号百瀬ビル3F	(0263)36-0452
藤村ヒューム管株式会社	〒380 長野市中村町336-11	(0262)44-2282
株式会社日創建材	〒380 長野市青木島1-18-13	(0262)83-1414
昭和鋼機株式会社	〒950 新潟県新潟市笹口2-7-16	(0252)41-3125(代)
株式会社栗本鉄工所	〒105 東京都港区新橋4-1-9	(03) 436-8233
東日本旭化成建材株式会社	〒100 東京都千代田区内幸町1-1-1	(03) 507-7574
(株)丸六鋼材店	〒380 長野市小島田町中村西沖1875	(0262)85-3606
富国物産株式会社	〒380-91 長野市東和田806	(0262)43-1321
昭和興産株式会社	〒398 大町市大字大町6850	(0261)22-3944(代)
株式会社炭平本店	〒380 長野市北長池1667	(0262)43-6111(代)
大同コンクリート工業株式会社	〒460 名古屋市中区栄2-9-3兼松江商名古屋支社ビル3F	(052)203-1381
株式会社サンゲツ	〒380 長野市早苗町82	(0262)35-3543
株式会社岩野商会	〒380 長野市三輪6丁目26番22号	(0262)34-1661
株式会社ニチペイ	〒380 長野市三輪1-9-18	(0262)44-7767
田島応用化工株式会社	〒390 松本市双葉3-2	(0263)27-1841
信越化学工業株式会社	〒380 長野市中村町259	(0262)28-9104
立川ブラインド工業株式会社	〒390 松本市白板2-4-21	(0263)34-1790
株式会社シマコー	〒390 松本市鎌田町5116の1	(0263)26-0071

会 社 ・ 団 体 名	担 当 地	連絡電話番号
シンコーインテリア株式会社	〒380 長野市大字稲葉字母袋沖614	(0262)21-5881
三協アルミニウム工業株式会社	〒380 長野市三輪1丁目1の26	(0262)44-1101
ヤマキ工業株式会社	〒382 須坂市大字八町1896番地	(02624)5-1015
株式会社長野ナブコ	〒381-21 長野市川中島町四ッ屋1216	(0262)84-1121
松本YKK産業株式会社	〒399-65 松本市大字笹賀6010-3	(0263)26-4134
三和シャッター工業株式会社	〒380 長野市川合新田字村西958	(0262)21-1130
新日軽株式会社	〒381-22 長野市青木島町大塚字北島917の1	(0262)28-6711
長野県板硝子工業組合連合会	〒395 飯田市松尾2910-9	(0265)24-7555
セントラル硝子株式会社	〒395 飯田市松尾3093の1	(0265)22-1601
株式会社前田鉄工所	〒380 長野市吉田4丁目14番8号	(0262)43-0261
中信電機株式会社	〒380 長野市稲葉字母袋沖772番地	(0262)27-1235
松田産業株式会社	〒380 長野市大字南長池字古新田369の5	(0262)43-3222
東陶機器株式会社	〒380 長野市中村259 昭和ビル5階	(0262)28-7828
富士厨房設備株式会社	〒380 長野市栗田175	(0262)26-3225
共和化工株式会社	〒380 長野市大字鶴賀南千才町831	(0262)28-3750
長野三菱電機機器販売株式会社	〒380 長野市卸センター	(0262)28-7111
第一公害プラント株式会社	〒380 長野市日詰沖1731	(0262)21-5520
有限会社遠藤厨房機器製作所	〒389-08 埴科郡戸倉町大字上徳間162	(02627)6-1100
株式会社長野コクヨ	〒380 長野市吉田3丁目2番12号	(0262)41-0250
滝澤家具株式会社	〒380 長野市北尾張部117番地	(0262)44-0131
株式会社岡村製作所	〒380 長野市栗田舎利田653 (栗田ビル内)	(0262)27-2330
サンウェーブ工業株式会社	〒380 長野市栗田653番地 (栗田ビル内)	(0262)27-1528
ホーチキ株式会社	〒380 長野市鶴賀七瀬町578-10	(0262)28-3622
ニッタン株式会社	〒380 長野市中御所岡田79	(0262)27-5528
岩月瓦工業株式会社	〒384-01 佐久市大字太田部312	(02676)2-0336
大日本塗料株式会社	〒380 長野市南高田中下河2101	(0262)21-3000
日本ステンレス株式会社	〒160 東京都新宿区本塩町8-2	(03) 358-2511
田島ルーフィング株式会社	〒101 東京都千代田区岩本町3-11-13	(03) 863-5631
坂田工業株式会社	〒380 長野市妻科434	(0262)34-3168
古河電気工業株式会社	〒100 東京都千代田区丸の内2-6-1	(03) 286-3482
矢崎総業株式会社長野支店	〒380 長野市大字高田字高田1744-1	(0262)43-5133
中部クリエート工業株式会社	〒380 長野市大字村山537-1	(0262)96-2511

※ずいひつ

窯の煙

唐木田又三

高田正二郎画伯が白馬山麓にアトリエを設けて、四季の山々を描いて居られるという話ですが、私も実は白馬連峰を眺めぬ日はない毎日です。白馬から爺ヶ嶽までの北アルプスの連峰が、一望のもとに見渡せる所に陶房があるからです。

私は今松代焼と青瓷（せいじ）を作っていますが、陶房のある所は篠ノ井の夜交（よませ）という所で、昔の松代焼の土採り場に近い所です。陶房には登り窯がありますが、窯焚きで疲れた体に、それらの山々を眺めることは何よりの励ましともなり、力となります。

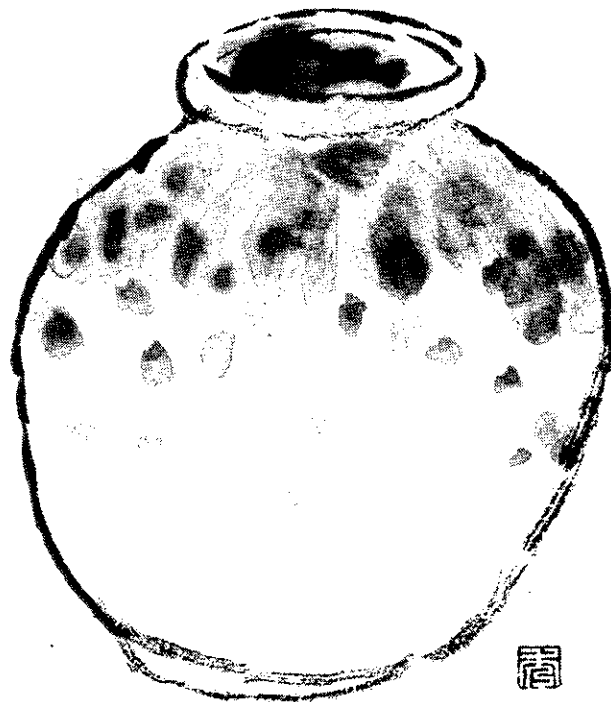
ある年の春先のこと、朝暗いうちから焚きはじめて、ふとアルプスの方をふりかえって眺めた時の感動は忘れることは出来ません。暁暗の中に浮かび出たように、淡い紅紫色に映えた雪の連峰が見えたのです。神秘的とでも言いましょうか、言葉では言い尽せぬこの神々しい眺めに、思わず合掌したくなりました。

この登り窯の窯焚きも、近頃は大分差しひかえなければならなくなりました。登り窯で松マキを焚くと凄い黒煙が出て、それが周囲の桑の葉を汚して養蚕に害を与えますので、ここ数年、五月から九月までの時期には焚かぬことにしています。ところがこれと同じことが弘化二年の古文書に出ていて驚きました。それは松代の荒神町にあった窯のことですが、窯焚きの煙が桑に害を与えるというので、「八十八夜から六月土用まで」窯焚を見合わせるという一札が、陶工と地元住民の間にとりかわ

されたのです。これを見た時、「ああ、昔の陶工も苦勞していたんだなあ」と感無量の思いがしました。

私の所では近頃は登り窯と並行して、ガス窯も使うようになりました。ガス窯も、使い方を研究すればなかなか良い結果が得られます。科学的にコントロールできますし、安定しています。しかしガス窯の窯焚きには、何故か登り窯の時のような、祈るような気持ちが生まれてきません。これが近代化というものなのでしょう。

(からきだ・またぞう/陶芸家)



佐野秀二・絵

[正会員名簿]

事務所名	代表者名	所在地	電話番号	最近の主な作品
飯島一級建築士事務所	飯島和夫	〒390-03 松本市大字岡田松岡25-12	(0263) 46-2268	松本筑摩高等学校特別混合教室棟、竹内整形外科医院
㈱伊藤建築設計事務所	伊藤宗春	〒390 松本市城西1-8-19	(0263) 32-8200	三郷村役場庁舎及び公民館、長野県松本地区養護学校
㈱エア・ハイツ設計事務所	斉藤英彦	〒385 佐久市大字猿久保 780-6	(02676) 8-2311	佐久市立近代美術館、佐久広域・川西消防署(望月)
尾島建築事務所	尾島正吉	〒386 上田市踏入2-11-8	(0268) 22-0645	北御牧村高齢者センター、望月警察署
㈱桂建築設計事務所	南島宗市	〒395 飯田市桜町1-41	(0265) 22-7234	飯田市営動物園、阿南町特別養護老人ホーム
計画工房都市建築設計事務所	佐藤友治	〒380 長野市大字上千歳町1413	(0262) 34-2501	栗田書店店舗、神津邸
小松一級建築士事務所	小松蒼一	〒390 松本市開智2-1-12	(0263) 35-5665	松南病院、伊那北高等学校同窓会館
㈱坂本建築事務所	坂本三郎	〒391 茅野市宮川5425-1	(0266) 72-6128	南信日日新聞社、長野県婦人総合センター
桜井三朗一級建築士事務所	桜井三朗	〒390 松本市城西1-9-15	(0263) 33-2576	松本児童園、藤田医院
㈱城取建築設計事務所	城取義直	〒396 伊那市大字伊那5561	(02657) 2-7271	南箕輪村役場庁舎、ロジテック㈱伊那研究所・工場
㈱マルタ建築事務所長野出張所	須田考雄	〒380 長野市県町459 旭町ビル	(0262) 32-1616	小諸市立千曲小学校、長門町町民体育館
㈱宮本忠長建築設計事務所	宮本忠長	〒380 長野市柳原1875-1	(0262) 41-5510	長野市立博物館、南牧村立南牧北小学校

編集室から

第5号を復刊号として編集した所、多くの会員の方からきついおしかりを戴いた。装丁の事、紙質の事、写真の事、記事内容の組立ての事、ミスプリントの事等々、教え切れない内容でした。会員の方々が久しく願っていた機関誌だけに十分検討して発刊すべき事は重々承知の上でありましたが、大上段にかまえた編集方針とのギャップを痛切に感じています。さて第6号から、会員ひとりひとりが、この生

まれたての機関誌を自分のものとして、育てて行く事を切に御願する次第です。

長い冬が去り、いつしか野山は春まっさかりとなりました。自然の大きな営みの中に私達の建築は共に生きついているはず。四季折々の変化にいつもハーモニーする様な建築を考える、その足がかりとなる様な機関誌の使命もちよびり感じています。

小松蒼一

長野県建築設計監理協会会報第6号

昭和59年4月14日発行

編集人/小松蒼一 発行人/宮本忠長

発行所 長野県建築設計監理協会

印刷 長野県建設工業新聞社



長野県建築設計士会